京城日報　朝刊
本紙定價 一部金六錢 一箇月金一圓廿錢 外國送り郵税共一箇月金四圓
廣告掲載料 五號十五字詰一行金一圓五十錢 場所指定料（二行毎二）金二十錢以上増

日泰攻守同盟[illegible]

第三國と開戰せば、双方凡ゆる方法で支援

きのふ調印を完了

【東京電話】日泰間攻守同盟條約は十二月十一日バンコックにおいてわが坪上大使とピブン首相との間に大綱について意見の一致を見、爾來兩國間に數日にわたる折衝を重ねた結果成文化を終つたので政府は廿日樞府の御諮詢を經て國内手續を完了し坪上大使に對して調印方を訓令した、よつて廿一日午前十時（日本時間正午）泰國首都バンコックにおいて坪上大使とピブン首相との間に調印を了し、廿一日午後二時半情報局より發表された、同條約の内容は左の如くである【寫眞（上）坪上大使（下）ピブン首相】

條約成立に關する情報局發表

[illegible]

大日本帝國政府及び泰王國政府は東亞における新秩序の建設が東亞興隆の唯一の方途にしてかつ世界平和の回復及び增進の絕對要件たることを確信し、これが障碍となる一切の禍根を芟除絕滅するの確固不動の決意をもつて左の通り協定せり

第一條　日本國及び泰國は相互の獨立及び主權の尊重の基礎において兩國間に同盟を設定す

第二條　日本國又は泰國と一又は二以上の第三國との間に武力紛爭發生する時は泰國又は日本國は直ちにその同盟國として他方の國に加擔し凡ゆる政治的、經濟的及び軍事的方法によりこれを支援すべし

第三條　第二條の實施細目は日本國及び泰國の權限ある官憲間に協議決定せらるべし

第四條　日本國及び泰國は共同して遂行せらるる戰爭の場合においては相互の完全なる諒解によるに非ざれば休戰又は講和をなさざることを約す

第五條　本條約は署名と同時に實施せらるべくかつ十年間有効とす、締約國は右期間滿了前適當なる時期において本條約の更新に關し協議すべし

共に勝利に進まん　東郷外相談を發表

【東京電話】日泰間攻守同盟條約調印に關し廿一日午後二時半東郷外相は左の如き談話を發表した

[illegible]

ダヴアオ通信杜絶

【[illegible]廿一日同盟】米極東軍司令部とダヴアオ間の通信連絡はマニラ時間二十一日午[illegible]（日本時間午前[illegible]）をもつて杜絶しダヴアオ[illegible]不明となつた

共同目的達成へ　帝國の使命愈よ重大

坪上大使聲明

【バンコック廿一日同盟】坪上大使は日泰攻守同盟條約調印に際し大要次の如き聲明を發し、同盟の重大意義を強調した

世紀の混亂の中にあつて泰國政府が日本帝國との間に進んで攻守同盟締結を斷行したことは從來の日泰友好關係をさらに結盟の間柄にまで發展せしめたもので日泰國交史上空前の重大意義を有するものである、そもそも日米會談の決裂は世界戰爭を防止せんと日本の誠意ある態度に對し、東亞における日本の生存圈を否定するとともにアジヤを彼等の植民地的地位に置かんとする米英の傳統的政策が今日に至るまで毫も變更されてゐないことを立證したものである、彼等は自己反省の遑もなくして諸國を煽り、對日包圍陣を結成し、挑戰し來つたが、開戰僅か三日にして米英海軍力の大半は太平洋の藻屑と化し、世界戰史に一新紀元を劃した、今回の日本の作戰は陰險極まる英米の挑戰に對する自衛權行使に過ぎざるものにして、今や米英の敗色蔽ひ難く

世界、被壓迫民族は反アングロサクソンの旗を翻し、蹶起せんとし、二千年にわたる米英の罪惡史變更は始めて既定の事實となつた、この秋に方り南方アジヤの獨立國たる泰國が米英の重壓下にあつて敢然攻守同盟條約を締結

らびに緊密化のため努力を拂ひ來つたのである、十二月八日帝國が對米英戰に入るや政府は直に坪上大使をして英國の泰侵入を排除するため日本軍隊の泰國通過承認方に關しピブン總理と折衝せしめたるところ、同總理は大勢を洞察し帝國の提議を入れ即日右に關する諒解が成立したのである、その後右に引續き日泰關係を新事態に即應せしめ、一層緊密なる友好關係に邁し進むべく坪上大使はピブン總理と交渉を進めつゝあつたが、ピブン總理の一大勇斷により十二月十一日日泰間に攻守

同盟締結方に意見の一致をみたるが、爾後條約案文確定しかつ國内手續を了し廿一日午前十時（日本時間正午）バンコック宮殿内大廣間において坪上大使、ピブン總理兼外相との間に調印を見るに至つたのである、かくの如くにして大東亞の歷史上劃期的な同盟條約の成立をみたのであるが、東亞千年の運命を決すべき大東亞戰爭遂行せらるゝに當り泰國が新に盟邦として帝國と共に勝利に至るまで本戰爭を遂行するの決意を明かにするに至りたるは世界新秩序建設および東亞興隆のため誠に慶賀にたへざるところである

したことは、同じくアジヤ民族として泰民族本然の姿を堂々顯現したもので、泰國指導者の英斷に兩國の敬意を表するとともに帝國の使命いよいよ重大なるを痛感する次第である、かくて今日以後一億日本民族と二千萬の泰民族とは相携へて共同の目的を達成せんがため戰ふこととなつたのである、革命戰を戰ひ、失地回復のため血を流した泰國民の胸底には必ずや日本國民と共通の情熱と感激が存在するものと信ずる、しかして世界新秩序建設と東亞民族解放のための戰ひに日本國民も同じく尊き血を流すことに敢へて悔ゆるを要しないものである

首相、外相祝電

【東京電話】日泰間攻守同盟條約成立に際し東條首相および東郷外相と泰國ピブン首相との間に祝電を交換したが、東條首相および東郷外相よりピブン首相にあてた祝電は左の通り

▲東條首相よりピブン首相宛祝電　本日バンコックにおいて日泰攻守同盟條約の調印を見、こゝに貴國が帝國の一大決心をもつて完遂せんとする米英撃滅戰に全面的に協力せられ、兩國相携へ大東亞新秩序建設の共同目的達成に邁進することゝなりたるはまことに慶賀に堪へず、本大臣は本同盟成立のため拂はれたる閣下の御努力と御勇斷に對し重ねて深甚なる感謝の意を表す

▲東郷外相よりピブン首相宛祝電　本日バンコックにおいて閣下ならびに坪上大使との間に調印を了したる日泰攻守同盟條約により日泰兩國民は東亞興隆の崇高なる使命達成のため相提携し、泰國は大東亞戰爭の完遂に全面的に協力せらるゝことゝなりたるは慶賀に堪へず、こゝに余は閣下ならびに閣下を通じ貴國官民に對し兩國の祝意を表し併せて貴國の隆昌を祈る

大東亞建設の基幹　泰中立的態度を清算

【東京電話】日泰兩國は昭和十二年十二月調印された『友好航海通商條約』により泰國の治外法權を撤廢し、兩國友好の礎石を置き、さらに昨年六月友好條約を締結、本年五月には『保障及び政治的諒解に關する日泰議定書』を結び、相互に第三國と敵對條約乃至協定をなさざる旨確約し、極めて友好の間柄にあつた、今回大東亞戰爭勃發するやピブン首相は大英斷をもつて米英の束縛を一掃し開戰當日わが方の泰國内通過に關する申入れを快諾して皇軍の軍事行動を容易ならしめた、坪上大使はさらに攻守同盟締結についてピブン首相との間に折衝を重ねた結果十一日正午に至つて原則的諒解に達したが、その成文化をまつて二十一日調印を了したわけである、しかして泰國軍隊はすでに皇軍と協力ビルマ、マレーより侵入せる英軍を驅逐しつゝあるが、さらに泰國は今回の攻守同盟條約に基づき從來の中立的態度を清算してわが國の指導下に東亞共榮圈確立に協力邁進する方針を中外に闡明するはずであり、この意味において日泰攻守同盟成立の意義はすこぶる大である、さらにこの軍事協定を基礎にし兩國は經濟的にも緊密の度を加へるものと見られるが他方重慶政權に與へる打撃も甚大で印度支那半島よりの米英勢力の驅逐と相俟つて東亞共榮圈建設の一基幹となら う

坪上大使挨拶

本日こゝに最も神聖かつ莊嚴なる儀式をもつて日泰兩國間に同盟條約を調印することになつたことは日泰友好史上劃期的の事實でありまことに慶祝の至りに堪へぬ、本同盟條約の成立はアジヤ精神の結成ともいふべき一大歷史的事實であり大なる意義をもつものである、泰國および日本國は本同盟條約の締結により完全に一心同體となつてこの崇高なる目的達成に向つて邁進することを信じて疑はさる次第である

ピ泰首相挨拶

本日行はれた日泰同盟條約締結は日泰兩國國交上きはめて嚴肅なる意義を有するものである、兩國の親善關係は數世紀にわたり不變かつますます緊密を加へてゐるが、今や國際情勢は大東亞における新しき秩序の建設と共榮圈の實現延いては世界平和の回復を必須ならしめるに至つた、私は本同盟が東洋の平和とその堅實なる發展をもたらすべきを確信するとともにこれによつて東亞の平和と繁榮に對する兩國の希望が達成せられるやう切に祈る次第である

周邊の全海面を制壓　海の精鋭、香港島猛攻

【東京特電】大本營海軍部發表（廿一日午前十一時四十分）＝帝國海軍部隊はわが陸軍部隊と緊密なる連繋を保ちつゝ香港島諸砲台および同港の敵艦艇を攻撃するとともに香港島周邊の全海面を制壓中なり

陸鷲協力爆撃

【南支○○基地廿一日同盟】南支陸鷲部隊は廿一日絶好の攻撃日和に惠まれ、早朝より香港上空に出動、戰果を擴大した、正午までの偵察によれば皇軍の一部有力部隊は早くも香港島南部の○○半島に進出北方深水灣方面の敵砲艦の猛砲火を浴びつゝ勇猛果敢な攻撃をつゞけつゝあり、これを認めた中野部隊は透さずこの敵砲艦を急降下から襲ひ直撃彈を叩き込んでこれを沈默せしめた、なほ一方ハッピーハッピーバレー競馬場附近においては凄々たる黑煙のなかに激戰が展開されてゐるとともに海中に姿を沒したのを確認して悠々歸還した

比島攻撃愈よ熾烈

上海特電【廿一日發】マニラ電によればアメリカ國務省は廿日フィリッピンの日本軍上陸部隊の攻撃はますます熾烈化しつゝあると發表した

【サイゴン廿一日同盟】當地で傍受した二十一日朝のマニラ放送によれば日本爆撃機隊は二十日晝マニラ北方七十マイル、タルラック、マニラ南郊のニコルスフイールド飛行場およびカヴイテ軍港に猛烈なる爆撃を加へその被害甚大なりといはれる

大野總監東上

大野政務總監は來る通常議會に政府委員として出席ならびに明年度豫算について大藏省と折衝のため廿一日午後零時五十五分京城驛發天谷秘書官を帶同東上した、途中釜山を視察、廿四日入京の豫定【寫眞＝京城驛出發の大野政務總監】

香港島上陸第一報　敵を猛攻撃するわが勇士

（十八日夜ブリマリ・スー・ヒルにて）現地＝＝細岡同盟特派員發

東亞の制海權は永久に日本が確保　獨軍事消息通の見解

【ベルリン廿日同盟】太平洋の軍事情勢に關し當地の消息筋は日本海軍の緒戰における米英兩海軍主力艦撃滅により『今や日本側に絕對有利となつた』として次の如き見解を下してゐる

非常に弱體化してしまつた米國太平洋艦隊は當分の間東亞の水域に姿を現はさぬであらう、英國は日本海軍により撃沈された二主力艦の代りとして大西洋、地中海における海軍力を減殺せしめるといふ危險を冒しても東亞に強力な主力艦を派遣するであらう、日本は當分の間否恐らくは永久に東亞における制海權を獲得した、日本が東亞の制海權を確保したことは同時に制空權を獲得することを意味する、したがつて日本はどこへでも軍隊を上陸せしめることが出來、活動の自由を完全に活用し得ることは確實である、日本海軍艦隊ならびに航空部隊はミッドウエー、ジョンストン、ウエーク諸島の米空軍基地を破壞した、グアム島の強力な米要塞はわづか三日にして日本軍に占領された、日本軍はフイリッピン群島中の最大島たるルソン、ミンダナオの二島に上陸し日本軍のマニラ攻略は最早時間の問題となつた、又日本軍は開戰第一日にビルマから泰國に侵入した英軍を撃退しマレー半島の北部に上陸した日本軍は英軍を擊破しつつ急速に進擊しつつあり、十六日には日本陸軍は英領ボルネオに敵前上陸を決行した、日本軍のこの赫々たる成功はかくして日本の地位を著しく強化した、太平洋において日本軍に優れる英米の海軍は共同動作に出づる以前に日本海軍につよく叩きつけられた、日本軍は今や完全なるイニシアチブを取るに至つた

英砲艦を撃沈

【南支○○基地廿一日同盟】南支陸鷲部隊（沖繩縣出身）機は二十一日正午香港東西方の南大嶼島附近において英國砲艦がニコルソン山附近のわが軍に對し盛んに發砲しつゝあるを發見、直撃彈二發を命中せしめ同艦が火を吹きながら傾斜し少時の後一大爆音

合衆國艦隊司令長官　キング大將任命

【ストックホルク廿日同盟】ワシントンよりのアバス電によれば米大西洋艦隊司令長官アーネスト・キング提督は過日罷免されたキンメル提督の後任として二十日米合衆國艦隊司令長官に任命され、今後大西洋、太平洋、アジヤ三艦隊の最高指揮を一手に掌握することになつた

キング大將は一八七八年オハイオ州に生れ一八九七年海軍兵學校卒業、米西戰爭には大西洋の哨戒任務に當りのち[illegible]ブリット號艦長、第五潛水艦隊司令、水上機母艦ライト艦長、海軍航空隊司令官、航空母艦レキシントン艦長、海軍省航空本部長などを歷任一九四一年二月大西洋艦隊司令長官となつて今日に及び米國航空隊育ての親である

カナダ豫備兵召集

【リスボン廿日同盟】オツタワよりのロイター電によればカナダ政府は國防強化特に太平洋岸防備のためさらに豫備兵十萬を召集する旨廿日公式に發表した

潜水艦九隻を擊沈　開戰以來

【東京特電】大本營海軍部發表（二十一日午後四時）帝國海軍は開戰以來本二十一日までに敵潜水艦九隻を撃沈せり、その他攻撃せるも撃沈せるや否や明確ならざるもの多數あり、なほ昨二十日帝國驅逐艦は同艦の撃沈せる敵潜水艦の乘員三十二名（うち士官五名）を捕虜とせり

邦人拘禁千四百六十名

【ブエノスアイレス廿日同盟】ワシントン來電によれば米司法省は外國人の拘禁に關し廿日左の如く發表した

米國の安全に有害と認めた外國人は戰爭終了まで留置する意向である、目下監禁中の外國人は全部で二千八百八十六名、そのうち日本人は千四百六十名、イタリー人二百二十二名、ドイツ人千二百四名である

日曜氣配

大東亞戰爭勃發直前の大株短期市場の大引値と今週の高値と比較してみると市場の値動きの大きいのは矢張り東新で卅九圓四十錢高、最低は日本レーヨンの七圓三十高であり、又短期上場二十七銘柄の平均値上りは十八圓二十八錢に達してゐる、取引所株などは幾度となく委託本證據金を大幅引上げられて餘程投機氣分を抑制されてゐることでもあり如何に市場人氣が急激に大展開されたかを物語つてゐるが週末にはさすがに警戒氣分の利喰を呼び東新は前日の新高値四十七圓八十錢から五圓卅錢まで下押した、なほ頭日來あまり急激に買煽られた諸株は一樣に多少引締められたが、忍ら押目は買はれてはね返し依然底意頑強味は侮り難いものがあつた、何しろ大東亞戰爭が豫想外の進展振りで前途に對する期待あまりにも大きいので先高見込しの群集的買人氣は容易に熄まず、又年末接近とともに買玉整理に伴うて一應の擶當の押目をつけるだらうとの觀測も行はれてゐるが、この調子では多少の波瀾はあるにしても案ずるやうな深押しは先づないものとみられ強調裡に越年しさうである

＝人＝

◇吉川八郎氏（蒙古政府顧問）廿一日入城朝鮮ホテル
◇兼江昭三氏（同）同上
◇松本誠氏（金組聯合會長）廿二日京城發忠南管内に出張、廿五日歸城

誰もが出來る奉公だ
奮起せよ！二千萬半島人
國債進軍に福田課長の檄

待ちに待つた一億總進軍の日は遂に來たのだ、この戰ひを忠勇武烈な將兵にのみ委しておくべきではない、銃後にある國民の一人一人が經濟戰への總進軍をなすべき秋であると　福田遞信局監理課長は廿一日午後八時から京城放送局のマイクを通じて全鮮に〝國債進軍〟と題して次の如き放送を行ひ銃後半島へ貯蓄勵行を強調すると共に特に半島人側の貯蓄不振に對し奮起を要望した

經濟戰への總進軍は國民各自がその職場々々で色々の方面でなし得るであらうが貯蓄進軍は男も女も老いも若きも誰もが出來る奉公だ、自ら銃後戰士として大砲を作り軍艦を作り戰車を作りタンクを作り軍艦を作り重要資材を生産することが出來ない者でも貯蓄を通じての戰爭參加は必ず出來るのだ、貯蓄は何れの貯蓄でも結構だが直接國家の財政に奉公するのは國債だ、只今全鮮の郵便局から支那事變國債を賣出してゐるが、未だ曾てない良好な消化成績を示し赤誠に燃ゆる消化部隊の殺到で毎日多額の國債が飛ぶやうに賣はれてゐるが、事變以來賣出された國債五千萬圓を全國を前提として見るとき一段の奮起が更に必要だ、半島の消化高は全體の四十八分の一で辛うじて山口縣一縣の消化高に過ぎず、更に人口一人當りでは内地の二十四圓五十錢を筆頭に南洋の十一圓、樺太の十圓、關東州の七圓、台灣の四圓に比較して朝鮮は一圓五十二錢といふ劣勢だ、この不振の原因の一として半島人側の消化不振が擧げられる、半島二千四百萬人の九割を占める半島人が從來消化した國債は約一割であつてこの一事をもつて全半島の民衆の愛國的熱情を否定するものではない、皇國臣民として大東亞戰へ身命を擲げる至誠この決心この氣持で各自が國債消化に邁進協力して戴きたい

勝つて〳〵勝ちまくる強い日本の海軍さんをみて私達女でも血潮がきますわ、第一線には行かなくとも大和撫子ですぞ、大いに皇軍のために貯金をしようと組合員により月掛けとして貯金した金を全部引出して献金するのです

陸軍へ戰闘機
會寧の合同木材會社で献納

【會寧支局電話】北鮮未曾の難と邀戰遇勝の報に一層國民の熱情は火の玉となつて燃發し北鮮國境においても國防献金、恤兵金、國防資材の献納が續々とあらはれ國民の赤誠を披瀝してゐるが廿日朝鮮合同木材株式會社會寧出張所長以下從業員一同により陸軍戰闘機一台の献納が會寧憲兵隊を通じて行はれ各方面を感激させてゐる

煙草小賣商献金

全鮮煙草小賣協會員の赤誠になる献金十萬五千圓は諏訪專賣局長が代表者となり廿日午前十時朝鮮軍司令部を訪れ倉茂報道部長に對し皇軍前線將兵の奮鬪を感謝して献金、倉茂少將は感激これを受納した

平田校長榮轉

永登浦公立國民學校長平田軍太氏は今回元町國民學校長に拔擢され

三、注意しませう、お互に見えぬスパイはオハラハー牙を研く（次は都々逸で）
一、醉うた酒でも油斷はするな、これは秘密を洩すもの
二、ニュース見ながら輪をかけ話す、手柄も秘密も區別なし
三、之は秘密よ話しちやならぬ、あなた許りが恐ろしい
四、ミイラ取るともミイラにならぬ、一寸の油斷が國を賣る

全鮮にラジオ放送

滿人の献金熱高潮
きのふ　在滿各神社で宣戰奉告祭

【新京支局電話】神國日本の固き決意を神前に奉告するため滿洲各神社においては廿一日一齊に宣戰奉告祭を執行した、この日新京神社では午前十時整列供進使岩松在滿教務部長、氏子總代ほか大迫副市長、各氏子總代、各團體代表等參列莊嚴なる宣戰奉告の儀を執り行つた

去る八日、日米英開戰以來皇軍のむかふところ敵なく米太平洋艦隊全滅、マニラ、マレーの敵前上陸成功、香港陥落目睫と戰捷の報傳はるごとに滿洲四千三百萬國民は、いま更ながら神國日本の絶大なる威力に感嘆すると共に燦たる關東軍の威容に信頼していささかの動搖も見せず大東亞共榮圈確立の兵站基地としての重大役割の完遂に邁進しつつあるが、今まで國防献金に乏しき滿人も今次開戰以來捷報の至るごと誰にいふともなく献金熱が勃まり勤務時間を繰延べた居殘り料を、母の形見の腕環をと…關東軍並に海軍武官府への献金は一日數百圓をくだらず、滿人のかうした新しき愛國心の發露は痛く當局を感激させてゐる

赤心沸る五百圓
山口さん本社へ献金寄託

さん、香川初枝さんの二人が代表となり十九日本社を訪ね金五百圓を海軍へ献金方を寄託した、代表者二人はそれ〴〵語る

沸りたつ愛國の赤誠は燎發的な陸海軍への献金熱となり續々と本社へ寄託されてゐるが廿一日付京城本町一丁目に印刷工場を營む府内東四軒町三五山口潮造氏が金五百圓を『僅少ですが陸海軍へお納め下さい』と本社へ持參した他、府内北町一〇日塚治由氏も忌明の返禮金一封を同様本社へ寄託した

軍用機二臺へ
忽ち十二萬圓
天津半島人の赤誠

【天津廿日同盟】大東亞戰爭緒戰におけるわが黒鷲の耀々たる戰果が發表されるや在天津一萬の半島同胞は感激に胸を躍らせ愛國の熱情を『軍用機献納運動』に爆發させた、すなはち天津朝鮮民會と天津日本特別義勇隊とが協力しさきに戰爭資材たる廢品類を回收献納したが、今回さらに陸海軍に各一機づつ軍用機二機の献納の議が一決され直ちに在留半島人軍用機献納期成會を結成、隣組を動員し回覽板を廻したところ最初の豫想に數倍する資金が僅か二日間で有力者のみ一口一千圓以上の分が十二萬圓に達したので近日中に献納の手續きをとるはずであるが、半島同胞のこの愛國の至情と銃後奉公の熱情は各方面を痛く感激させてゐる

京城美容組合でも献金

京城美容組合では組合長竹本茂登

新作〝防諜訓〟
映畫館に掲示

我無敵皇軍が緒戰に擧げた赫々たる戰果に國民よ、何時までも醉ひ痴れる勿れ、大東亞戰爭は長期戰を覺悟せねばならんのだ、そこで先づ我々國民は一體どうしたらよいか、既に皆さん先刻御承知だからここでくだ〳〵申すまい、つぎに紹介するのはスパイは次の隙にも彼にも

絶えず耳を、眼を鋭てゐる『國を賣るな』の防諜訓で、これは龍山憲友會外事係主任の作になるもの、近く管内の映畫館に掲出され觀客の防諜意識を一段と喚起することになつた（節はお馴染のおらは節で）
一、武力表でスパイは男で、見えぬスパイはオハラハー國を賣る
二、己以外はスパイと思へ、注意しませう、オハラハー防諜に

知れ太平洋を
けふ府民館で『時局大講演會』

大東亞民族の興廢を決する大戰爭の火蓋を切り太平洋はわが無敵皇軍の制壓下に入つたが、大東亞戰爭はまだ〳〵續くのだ、一億同胞は太平洋及び南方の認識なくして新世紀の創造はあり得ない、秋が來た、殉國の血は擧げて太平洋に注がなければならぬ時が來たのだ、海軍協會朝鮮本部、同京城道支部同京城府分會では本社の後援を得て、廿二日午後六時半から府民館で〝時局大講演會〟を開催し熱沸する愛國の至誠を更に沸騰し太平洋への認識を強めることになつた海軍大佐黒木剛一氏が講師となり『海軍は斯く戰へり』と獅子吼し引續き『黒潮躍る太平洋』『蘭領印度』『日本ニュース』を上映することになつてゐる

窮民へ温い同情

【濟律】これは僅かですが府内の窮細民たちにあげて下さいと應召軍人から温かい歳末同情が寄せられた、府内北星町平田洋服店主人平田幸吉氏は、目下應召中であるが、このほど金二十圓を關藤府尹宛に府内の窮細民に歳末の贈物をして欲しいとおくつて來た

出來るぞ〝卷脚絆部隊〟
永登浦の中島區長の考案

決戰大捷の快報にやゝもすると戰勝氣分に陶醉する者がないとも限らない、だが醉つてはならん、一億國民はいよ〳〵悲壯なる決意と緊張をもつて如何なる難關も突破するだけの用意と氣構へが絶對必要である、それには色々の方法があるがこの超非常時に最も相應しい方法として
一、自身の氣持も引緊り他人に對しても否か應にも決戰體制下の緊張味を示す
二、動作に至極利便で萬が一に非常の場合は即刻出動出來得る
三、低温生活を强調するとき保温に效果百パーセント

といふ觀點から各愛國班員に常時卷脚絆裝着を思ひ立つた永登浦町西中町區長中島旭氏は早速大塚總代を訪れこの事を献策するや、流石の大塚さんもわが意を得たりと濫觴を殊更に從はせて『實は私も男には卷脚絆、女にはモンペの常用を考へその奬勵方法を研究してゐたところだ』と二人が鳩首協議の結果、時局柄やむを得んとだ、先づ町内各愛國班員に積極的に奬勵すると共にその成績を十分檢討した上これを國民總力朝鮮聯盟を通じて全鮮二千四百萬愛國班に呼びかける…と大なる意氣込みであるが、既に角工部永登浦街には見るからに凜々しい卷脚絆、モンペ部隊が颯爽として登場する筈で、一寸風變りな非常時風景が繰展げられるであらう

今ぞ浮ぶ殉死の靈
百濟滅亡の哀史に絡む
扶餘 馬川池に供養辨財天

いまから一千三百年前の昔、百濟滅亡の哀史を秘めていまも扶餘の[illegible]に殉死した[illegible]といふ悲しい傳説を[illegible]いまだ成佛できない多數の靈の今日に至るまで成佛もできず、水底深く忘れ去られてゐたものであるといふ、その恨みは一千年後の今日に至るまで[illegible]てゐる、といふ神秘的な開眼鎭座式が去る十

〝辨天さまの分身〟
これは[illegible]湖の竹生島から分身を迎へるため今度[illegible]

僧正が齋藤朗湧氏を伴つて來鮮、去る十七日目出度く

開眼鎭座式
が行はれ、初めて大僧正の手により亡靈施餓鬼が神秘な香りをたゞよはして行はれたのだ、聽謝された辨天さまの分身は五百年前のもので高さ約二尺、八本の手が踊つた

（入鮮した齋藤大僧正は不別火[illegible]）

靈を供養に
來鮮の齋藤大僧正談

あり錦に鳥居を繞ぎ手には劔を持つてゐる、齋藤大僧正一行は十九日午後四時京城驛着列車で入城、總督府に南總督を訪ね挨拶をなし廿一日午後二時京城發一路京都へ

旅館で語る【寫眞＝齋藤大僧正】

私は京城は初めてです、こちらに參りましたのは内鮮一體の縁詳地である扶餘の馬川池に今から約千三百年前、内鮮人が殉死した靈を供養するためです、馬川池一帶は荒れ放題と聞き、あまりにも勿體ないと思ひました、それでは靈も浮ばれないと思ひ今回の來鮮となつたわけです

糯米が來ました

【木浦】皆さん！お待兼ねの糯米が愈よ到着しました……府當局では正四、五日に間違ひなく配給する筈である

不正は申告せよ
白炭丸に經警の目

炭屋さんよ品薄につけ込んで呼賣りをする場合價格、量目を誤魔化すと嚴罰に處され、特に經濟警察の眼が光つてゐますぞ—去る十日に炭の公定價が約一割方一律に値上げになり京城は極上の白炭丸が廿キロ（五貫三百三十匁）一俵が二圓七十八錢になつてゐる分割賣した場合は　これに一割かけて賣ることを認められ、一俵三圓六錢になり一貫賣りが六十一錢になるが、實際には小賣商は一貫を六十一錢で賣つてゐる店はない有樣である、右について本府經濟警察課長服部氏は

品物が少いからと泣寢入りしてみす〳〵高い物も買はずにどん〳〵申告してくれることを希望するが經濟警察係に命じて府内炭屋を檢索させるつもりであると語つて自粛を促してゐる、なほ各道別主要都市白炭丸一俵の公定價は次の如くで割賣はこれより五錢高は十五錢安、込は廿錢安、更に黒炭は白炭より全部五錢安で、松炭は黒炭込より十五錢安になつてゐる

▲京畿道＝京城二、七八錢、仁川二、七五錢、開城二、六八錢、水原二、六六錢、利川二、四六

列車事故に止め
信號器確認の新裝置
今村鐵道技師が發明

【岡山電話】最近頻發する國鐵の慘事はほとんど機關士の過勞から來る信號器不注意とされてゐるが、國鐵の山陽本線岡山驛大慘事の責任者たる岡山運輸事務所運轉係長今村一郎技師によつて機關士の信號器確認の新裝置が發明され注目されてゐる

この信號確認裝置は自動信號器の前方約三百メートルの地點にレールの高さとすれ〳〵に鐵板または木板を裝置した突出部分がこの軌條裝置に觸れると突出部よりパイプによる空氣作用で機關士の座席に裝置された氣笛がピーピーと鳴つて信號器の確認を促すといふ至極簡單なものである、今村技師は愼重を期し極秘の裡に數回にわたり試驗を行つた結果、成績は上乘なので近く本省に對し手續をとることゝなつてゐる、發明者今村技師は機關車の釜焚きから身を起し、現在全國鐵が採用してゐる機關車消音裝置を發明して鐵道大臣賞を拜得一躍高等官技師に拔擢された研究心の旺盛な人で『機關車の今村』の名をもつて全國鐵に知られてゐる

十五日單身赴任したが、氏は感激の典型的教育家で昭和十年四月永登浦に赴任以來六年九ケ月の間第二世の皇民育成に努力し地方發展に即應して着任當時僅かに七學級八人の教員であつた同校をして現在は十七學級二十一人の教員を擁してゐる大きな學校に築きあげ、しかも氏の篤學なる熏陶を以て和協一致、常に明らかな空氣を漂はせ、以て兒童教育に郷土文化に貢獻したところ多く、一方校舍新築、全市内を通じての立派な大講堂その他諸般の設備等についても他に遜色のないほど充實させた功績は偉大であつただけに學校當局者は勿論一般府民は閔しく氏の轉出を非常に惜んでゐるなほ氏の後任には[illegible]川松林公立國民學校長古宗代本氏が來任する筈

激勵の放送
飛來る彈も物かは
在香港邦人へ攻城軍の苦心

【香港廿日同盟】矢野總領事以下四十餘名の香港殘留邦人の動靜に關し香港の一支那人の言によれば香港政廳は邦人全部を雪廠街の松原ホテル跡に監禁、更にこれを某所に移した模樣で一同無事なること確實の如くである、このうち主なる人々は矢野總領事、木村領事、河野、隈頭、高橋書記生、藤田通譯、南部三井物産支店長、衞頭香港日報社長などいづれも危險の情勢にもかゝはらず、その職を守つて飽くまでも香港に止り一身を省みなかつた人で、監禁はかねて覺悟の上とはいへ陰險の英官憲の下にある精神的苦痛のほどは察するに餘りある

香港攻城軍では九龍占領以來在香港同胞の士氣を鼓舞し慰問するため連夜對岸より擴聲機をもつて香港島に呼掛けあるひは攻略戰の戰果を報じ、あるひは大東亞戰の進捗を傳へさらに日本音樂のレコードをも放送し幽囚の憂ひを慰めてゐる、放送者はつねに敵銃座よりの掃射を受けたり哨戒艇の探照燈に照されるなど危險極まるものがあるが攻城軍宣傳部員はこれに屈せず、矢野總領事と親交ある某中佐、從軍中のJOAKアナウンサー杉本氏もこれに參加し雲低く小雨降る夜も、星月夜も厭はず擴

献金打續く

【富川】大東亞戰開戰以來富川に献金申込は引きも切らず係員は嬉しい悲鳴をあげてゐるが富川織物工組合は金一千三十圓の他に絹布四百四十二枚を富川署に寄託したので署では直ちに軍に取次いだ

まず香港邦人に呼掛けてゐる

デマもこゝまで來ると滑稽です

これを見ないで聞いて下さい

皇軍の劃期的戰果に度膽を拔かれたアメリカが周章たる敗戰の事實を如何に糊塗して放送してゐるか、デマの本場蔣介石と氣脈を通じてゐるだけに放送內容は實に噴飯に値するものがある、アメリカは緒戰の大敗に茫然自失し最初の四日間は努めて沈默を守つて平

漫畫＝相踵ぐ慘敗の四日目に漸く一流のデマ放送に乘出した（ルーズベルト）弛緩氏

東京は潰滅したはず
敗戰をヒタ隱すルさん
大慌てにデマ放送開始

靜を裝つてきたが次ぎ〳〵に起る敗戰の報には流石に國民を騙すことが出來ず、十二日になつてヤット一流のデマ放送を始め出した、この放送たるや全然辻褄の合はぬもので滑稽なのは〝東京が既に數度の空襲によつて潰滅したことになつてゐる〟といつた調子其他二三例を引いてみると

◇比島の日本軍全滅＝十四日夜桑港日本語放送は『マニラからの放送によると比島に上陸した日本軍はルソン島に上陸した日本軍を全滅せしめた』と傳へてゐるが、この放送が終ると同時に今度は『ルソン島の北部には日本軍が今なほ足場を持つてゐる』

るやうである』と前の放送を覆すやうな出鱈目放送をやつてゐる

◇住宅地を爆撃する日本飛行機＝彼らは又日本の飛行機の爆撃振りを盲爆として誇大宣傳し『マニラ近郊のニコルス飛行場に對して日本軍の攻撃がなされたがアメリカ軍戰闘機と高射砲の猛烈は日本機の標的を巧みに外さしめこれによつて日本機はマニラの住宅地に爆彈を落し死者七十名餘、負傷者三百名餘を出した』と眞しやかに放送してゐる

◇まだ落ちぬガム島＝十二日完全にグアム島を占領された事實を隱さんとして十四日に至るも『グアム島の狀態は明瞭には判らないがアメリカ海軍のコンミユニケはガアム島が日本軍の手に入つたとの確報に接してゐない』『ニユーヨーク』で聞いたローマ放送によると日本軍はまだガアム島攻略の眞最中である』と勝手にローマ放送をデッチあげて國民を欺瞞してゐる

アメリカのデマ放送の內容が如何に權威に乏しいものであるかは以上の放送によつても十うなづけるが、これに對してわが陸海軍の發表は、ハワイの戰果を逐へ日に發表して、眞相の判明するにつれ逐次増補發表してゐるなどはわが大本營陸軍部發表が如何に正確で權威あるものであるかを雄辯に物語つてゐる

急特題話

☆……貨物電車が動きましたゾ、嚴寒を迎へての燃料運搬の問題で府民が頭痛鉢卷の廿日夕薪を山ほど積んだ京電の貨物電車が疾驅してラッシュアワーで混雜する人々を驚かせたり、喜ばせたりしたこれは東大門工務課で工事用に使用の材料や薪がトラックで運べないので只一台殘された貨物電車の出動とはなつたもの
☆……それにしても嚴寒襲來を眼の前にして燃料不足に惱む府民は再び『貨物電車の夜間運行』を眞劍に考へ始めた、京電では、よし引込線は無くとも運搬された貨物が難なく始末出來れば『お易い御用』と引受けるさうだ、電車から舖道に投出された薪の山が夜明けまでに無事姿を消すかどうかゞ殘された大きな問題だが、町内の愛國班總動員による勤勞奉仕にまつのも一方法で關係町民の惹起がのぞまれてゐる

吉田御用掛
【東京電話】宮内省御用掛吉田增藏氏は十九日午後九時四十分胃潰瘍のため淀橋區上落合一ノ四二四の自邸で逝去した、享年七十六、氏は福岡縣出身である

有田邦敬氏
【東京電話】京阪電鐵社長有田邦敬氏は、胃潰瘍のため兵庫縣武庫郡本庄村深江の自宅で療養中のところ廿一日午前一時廿分逝去した、享年五十九

岩垂邦彦氏逝去
【東京電話】日本電氣株式會社會長、東京電氣取締役岩垂邦彦氏は胃潰瘍のため二十日午後零時五十分麻布區富士見町の自宅で逝去した、享年八十五

▲忠北＝清州二、四六錢、廣州二、三二錢、安城二、四六錢、
▲忠北＝清州二、五四錢、沃川二、四五錢、永同二、四五錢、槐山二、一七錢、堤川二、一三錢、忠州二、四三錢
▲忠南＝大田二、六一錢、鳥致院二、四七錢、公州二、二四錢、論山二、四七錢、禮山二、三三錢、天安二、四七錢
▲全北＝群山二、六〇錢、全州二、五三錢、南原二、三五錢、井邑二、四一錢、金堤二、四五錢、裡里二、五四錢
▲全南＝木浦二、六二錢、光州二、六〇錢、麗水二、五六錢、順天二、四九錢、長城二、四四錢
▲慶北＝大邱二、七〇錢、安東二、四一錢、浦項二、四四錢、金泉二、四六錢、永川二、四五錢
▲慶南＝釜山二、八〇錢、馬山二、六七錢、晋州二、五六錢、南山二、五二錢、統營二、五七錢
▲黄海道＝海州二、六一錢、金郊二、四七錢、南川二、四六錢、沙里院二、五〇錢、瑞興二、四四錢
▲平南＝平壤二、六九錢、鎭南浦二、六六錢、陽德二、四三錢、順川二、五〇錢
▲平北＝新義州二、六八錢、龍岩浦二、六六錢、江界二、四一錢、熙川二、四一錢、博川二、四三錢、定州二、四一錢
▲江原＝春川二、五一錢、原州二、四六錢、江陵二、四八錢、鐵原二、四七錢、金化二、四〇錢
▲咸南＝咸興二、六二錢、元山二、六二錢、興南二、六八錢、安邊二、四二錢、北青二、四三錢、端川二、四四錢
▲咸北＝清津二、八八錢、羅津二、七三錢、吉州二、六一錢、城津二、七二錢、會寧二、六九錢

歌はぬ勝利 (96)

由中峯太郎【作】 高木清【畫】

新道を行く者（三）

――お母さま、歸つていらした時から、何か青白く眞劍な顔をして、どうなすつたのかしら。伯母さまのところで、きつと、何かあつたのだわ。

公子は玄關さきへ、すばやく迎へに出た時から、これを一目で直感してゐた。それに今、――お話がある、と、きつぱりした口調でいはれて、おもはず坐りなほすと

『お茶、召しあがりませんの』

たづねる公子の聲が力にみちて目いろを凝めながら、唇はまだ無邪氣に笑つてゐるのを、禮子夫人は、ジーツと眺めたきり、

『……』

しばらく口をつぐんだあとに、

『いゝえ、お茶よりも……』

氣もちを鎭めて、公子の顔いろを見まもると、――今こそ打ちあけて、と、

『お父さまが、お亡くなりになつた時、あなたのお部屋へ、乳母と云つて來た人がゐましたね』

[illegible]

『あなたは、あの人を、おぼえてゐますの』

『いゝえ』

『ちつとも』

『えゝ』

『……』

お母さまの唇がふるへてジーツと公子を見つめながら涙ぐみ、そのまゝ默つて、青白くなつてゐられるのを、公子は、自分も默つて見てゐるうちに、どうしたのか自分も瞬らずに、いきなり、わつと聲をあげて泣き出したい氣がした。こんなことは初めての、おもひがけなく、かなしい衝動に打たれて胸がせまり――お母さま、どうなすつたの、と膝もとへすがりつきたいのを、目を見はつたきり默つてゐると、

『公子さん』

涙をためたまゝのお母さまに、靜かに呼ばれて、

『えゝ……』

おもはず、うなづくと、

『あの人は、あなたのお乳母では、ないんですの、さういふ人ではないのよ』

『では、どなたですの』

『あなたは、誰からも、まだ聞いてゐないのね』

『まあ、何をでせう』

『氣をおちつけて聞いてね、あなたは……』

『……』

『この家に生れたのでは……』

『お母さま、それは、どういふことですの、はつきりと仰しやつてちやうだい』

『それはね、……あの人が、ほんとうは、あなたを生んだ方なのだけれど……』

公子は、血の氣もなく蒼ざめてしまつた。

躍動する兵站基地半島 咸南端川卷 二

民衆娛樂に寄與 營利を度外視した端川の私設公會堂 端川座 大元貞珪氏

端川四萬邑民の唯一の娛樂の殿堂としてその一役を果してゐるのが映畫常設館端川座である、内鮮各社の映畫は勿論洋物をも上映し内鮮側のファンを多數擁しており一面巡業劇團の公演にも供して民衆娛樂に寄與するところが多い、なほ同座代表經營主、大元貞珪氏外五名がこの端川座を建立した動機といふのは嚴なる娛樂及營利を目的としたのではなく當時端川には何かの會合に數百名を收容するやうな場所のなかつたのを遺憾として建てたものがこの端川座で今日においても最初の主旨に背かず利を眼中に置かず黙々と端川の公會堂として供してゐるのがこの端川座のモツトーであり建てた目的なのである、なほ經營代表者大元氏は仁俠の持主で邑内一般から尊敬を一身に集めてゐる篤の人である【寫眞＝大元貞珪氏】

端川刀圭界の逸材 柳川咸範氏 端川鐵道醫務室院長

端川刀圭界に比肩すべきものなしといはれる柳川咸範氏は人も知る端川鐵道醫務室の院長であり端川公醫である、氏は東京醫學專門學校出身で内地において醫療方面就中臨床方面の研究を重ねて來た刀圭界の逸材である、氏は幼にして神童といはれた天性の明敏な頭腦を有し天稟の才を縱横に發揮し師友を驚歎せしめたもので同氏の將來は飛躍端川と並行してますます成功の一途を辿るであらう―また氏の明朗活達な性格は今日の邑會議員並に端川中等學校期成會長として用ひられ公人としての同氏の存在はなほ大きいのである【寫眞＝柳川咸範氏】

端川精米界の草分け 原川富雄氏 三盛精米所主

端川において、その表玄關たる驛前の殷賑街に『三盛精米所』といふ太文字の眼も鮮かに射る堂々たる看板を掲げて端川精米企業界の草分を誇り經營者の名を欲しいまゝにする三盛精米所は經營者、原川富雄氏（舊名趙相禹）の圓滿なる人格を中心に堅實なる營業方針（臨戰體制下に）あつて躍進また躍進を續け明日の躍進を約束せられた

をモツトーとして數十名の店員がガツチリと組合つて一致團結、報國の至誠にかたまつて堂々として同店の隆盛にいそしんでゐる、いま同店の營業狀態を見るに醬油、味噌、酒造、精米及び鑛山等を掌握して劇場その他にまで觸手を延ばしてゐる『用ふる者の氣分となつて生産する』といふ店主原川氏の慈腹からしてもいまから同氏の將來の大成が約束されるのである【寫眞＝原川さん】

青年層の中堅人物 利川榮次氏 利川商店主

咸鏡中部端川に根據を有する利川商店は建築材料、機械工具、鑛油、罐具、鑛物製品、塗料、鑛山用品及海産物部をも本年新設したのである、店主 利川榮次（舊名徐廷銘）氏は溫厚篤實の持主で健康と明朗な風貌は眞に市民に敬愛され、いまや青年層の中堅人物として登場しつゝある、同氏は今を去る五年前の昭和十一年聊か感ずるところあつて、咸興より來端して奧地鑛山及工事場等の信用を一身にあつめその事業は順風滿帆よく時潮に乘つて躍進しその洋々たる將來は眞に期して待つべきものがある【寫眞＝利川榮次氏】

文化に讀書界に雄飛する 北鮮印刷文具株式會社

端川印刷及文具商界に於て他の追從を許さずその雄姿を現してゐる北鮮印刷文具株式會社は本年三月北靑の文化株式會社、惠山鎭の北一商事會社及滿津の東一商事所が共同出資の下に躍進端川に備へて組織されたもので印刷部には動力機械六台も据付一般官公署各會社の供給に充を滿してゐる外、優良事務用品の販賣及び、日本出版配[illegible]を與へてゐる、なほ同社の陣容を見るに社長に斯界の權威者ともいふべき京城の安川道彥氏、專務に三原源及び渭原英勝の兩氏でこの陣容から見ても躍進端川の明日を擔ふ印刷及び文具會社として一般の期待は大きいのである

驚異的躍進振り 松下俊鎬氏 德永洋行主

附近に據る日用食料品雜貨界で德永洋行は斯界で權威を謳はれてゐる松下俊鎬氏の經營に係るもので端川の發展と共に步調堂々とその巨姿を現はしたもので同洋行は主として食料品、製菓、製麵業等の端川郡下の配給を多く巨手に掌握し、本道北部高地帶即ち豐山、三水、甲山、利原方面に取引先を有し殷々呼たる業績は驚異の躍進ぶりである、店主松下氏は新進氣鋭の商才で機敏積極に斯業に乘出し新たなる市場の開市と共に業績はいよいよあがり地盤は更に鞏固となり業界の重鎭として牛耳つてゐる【寫眞＝松下さん】

體育報國に全力を注ぐ 栗川宅玄氏 端川陶磁商組合長

小學校時代から少年庭球王として知られた栗川宅玄氏は三度の飯を忘れる位ボールに全心を賭け十五年間を專ら庭球の世界に生きてをり今日端川庭球界では缺くことのならない存在となつてゐる、氏は曾て咸高普校商代表に全鮮中等學校選手權庭球大會に出場して全鮮より集つた强硬チームを向に廻し見事に優勝して庭球會成の氣焰を吐いた時代もあつたのである、今日では端川體育協會の庭球部コーチとして體育報國に全力を注いでゐる本年二十四の青年スポーツマンである、なほ氏は咸成高普を終へるや鄕里端川において當時貧弱な端川陶磁器商に着眼して以來一心不亂に職域奉公をなした結果今日では一流商人として堂々とその雄姿を現はしてゐる、なほ氏は端川陶磁商組合長である關係から將來は期して待つべきものがある【寫眞＝栗川さん】

醫業報國に專念する 新川醫院長 朴永熙氏

溫厚篤實なる人格者

醫は仁なりをモツトーとして醫業報國に專念してゐる新川醫院の朴永熙氏は人も知る溫厚篤實の持主で大正十五年三月京城醫專優秀な成績で卒業の後平北道にて開業をなしてゐたが、聊か感ずるところあつて昭和二年鄕里端川にて開業してゐる中昭和六年甲山郡民の要望を入れ甲山公醫として甲山で開業してゐたが、昭和十一年更に定平公醫として定平において開業をなし昭和十四年青雲の志を抱いて再び京城醫專に入り研究を重ね腕を練磨してもう大丈夫だといふ自信がタツプリとついたので再び鄕里端川において昨年の暮開業したもので近く醫院前通りの前宅重根氏宅を修理して移轉することになつてゐる、なほ同氏は朝鮮滿次開發會社の囑託醫である【寫眞＝朴永熙氏】

端川木材界の覇 東北社本店 進取的氣分橫溢の雲垣寶氏

躍進端川の木材界に旭日昇天の勢ひで大飛躍を敢てなしてゐるのが〝東北社本店〟の雲垣寶氏である、氏は性格磊落豪放にして任俠の氣風に富み進取的氣分が全身に横溢してゐる活動家である、氏は數年間内地に渡東して識見を重ね鄕里端川奧地の地下資源開發及び各工事場等の進出によつて木材の需要は異常に増大して來たのでこの波に乘つて規模を擴大し支店を城津府幸町に置き出張所を京城、江原道の二個所に設け主なる事業としては水電工事、鑛山及び鐵道用材機械鑿岩材及び部分品等を販賣してゐる、なほ青年實業家としての同氏の將來には幸あるものと期待されてゐる【寫眞＝雲垣さん】

大衆金融機關 博愛社

端川 細民の唯一の金融機關として重寶がられてゐる端川博愛社は今を去る十年前の昭和七年七月當時の警察署長たる河崎武千代氏の發案によつて創立されたもので、當時端川は全鮮で有名な農民組合運動事件檢擧直後であつて、一般青少年は思想著るしく惡化し、その反面農作は甚だしく凶作であつたため農民の生活は相當困窮の狀態に陷つたのを同署長は甚だ遺憾とし青少年の思想を善導すると共に一般細民の救濟機關として創立したのがこの『博愛社』なのである、同社の主なる事業としては△主婦の講習會を開催△思想轉向者の事業資金の貸付△自力更生資發行△育英資金の融通△小資本者の救濟として日賦金の貸付等である